

つなぐ会社

私たちは、ねじやねじ締め機、計測検査機器、医療機器を通してお客さまと課題を共有・解決し、思い描いた未来へと、つないでいく存在でありたいと考えています。



創業

1938年



連結売上高

447億円



本社所在地

AYABE CITY

京都府綾部市



連結従業員数

1,940人



グループ会社

35社



海外拠点所在地

9ヶ国

その内5ヶ国に製造拠点



販売国数

37ヶ国(以上)



特許数

国内 189件

海外 48件



CO₂ 排出量 (2019年比)

16.8%削減

2030年までに30%削減、
2050年に100%削減を目指す。



受験生応援ねじ
累計配布数

53,444個



セグメント
売上高比率

▶ファスナー事業…73.5%

▶産機事業……13.3%

▶制御事業……13.2%

▶メディカル事業……0.0%

(新材料の製品化を推進中)

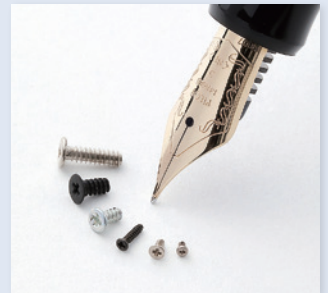
ファスナー事業

自動車業界向けセルフタッピンねじ、国内初の量産化となった精密ねじを筆頭に多くの実績を積み重ね、軽量化、新素材への対応、トータルコストダウンなどお客さまのニーズを満たす独創的かつ機能的なねじを開発しています。

近年は、高機能ねじのみにとどまらず異種金属接合部品やクリンチングスタッドボルトも開発。また、グループに太物ボルトや建築用ドリルねじ、プレス品を得意とする企業が加わり、グループ全体であらゆる要望にお応えしています。

主要製品

- 精密ねじ
- セルフタッピンねじ
- ゆるみ止めねじ
- セルフクリンチングスタッドボルト
- 特殊冷間圧造部品
- 複合部品
- 異種金属接合部品
- ねじ製造用工具
- ボルト・ナット
- ドリルねじ
- 精密プレス部品



P22

↳

P25

産機事業

1965年に国内で初めて自動ねじ締め機を開発して以来、お客さまの組立自動化のニーズに合わせて、ねじ締めロボット、リベットかしめ機、ACサーボねじ締めドライバなどを手掛けてきました。これらは自動車、電機、電子機器、住宅設備など幅広い業界で活躍しています。コア技術のねじ締め技術以外にも部品の移載、搬送、検査、包装など生産システムに必要な製品技術を保有しており、組立ラインの要望にもお応えしています。

主要製品

- ACサーボねじ締めドライバ
- 自動ねじ締め機
- ねじ締めロボット
- ねじ供給機
- リベットかしめ機
- 自動組立機
- 計数包装機
- 通電検査機



P26

↳

P29

制御事業

1949年に量水器を手掛けて以来、暮らしや化学・食品などあらゆる産業に各種流量計をお届けしてきました。その後、多様な計測・検査ニーズに応えるべく、当社各事業の技術を結集し「小物部品画像検査装置」、「地盤調査機」、「マイクロバブル洗浄装置・シャワーシステム」など製品群を拡充してきました。2020年からは元素計、水分計などの分析機器を得意とする日東精工アナリティックが新たにグループに加わりました。

主要製品

- 流量計
- 計装システム
- 検査選別装置
- マイクロバブル洗浄装置・シャワーシステム
- 地盤調査機
- 水分測定装置
- 各種分析装置(元素等)
- 抵抗率測定装置



P30

↳

P33

メディカル事業

2020年に当社第4の事業として立ち上げた本事業。同年7月から手術時の術野を照らす医療用照明器「FREELED」の製造販売を開始しました。現在、産学官連携で研究を進め開発に成功した「医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料」について、実用化に向けて試験の実施や製造体制の構築などを進めています。

主要製品

- 医療用照明器「FREELED」
- 医療用生体内溶解性高純度マグネシウム材料
(製品化に向けた取り組みを推進中)



P34

↳

P35

Contents

価値創造ストーリー

CEOメッセージ04

日東精工の歴史06

価値創造モデル08

日東精工のサステナビリティ10

ビジョン

COOメッセージ12

長期ビジョン18

中期経営計画 Mission G-second19

価値創造戦略

事業拡大戦略

4事業概況20

ファスナー事業22

産機事業26

制御事業30

メディカル事業34

環境戦略36

人財戦略42

財務戦略48

ガバナンス

コーポレートガバナンス52

社外取締役鼎談56

役員一覧58

データ

連結財務諸表60

11年間の主要財務・非財務データ62

株式情報・拠点情報64

創業理念

誠実を基とし内外に信用を獲得し
地方の発展に寄与する

社是 我らの信条

一、我らは よい自己をつくる	二、我らは よい仕事をする	三、我らは よい貢献をする
健康を増進し	誠実を旨とし	我らが日々の勤めに
品性を養い	改善を怠らず	いそしむことの出来るのも
知識を求め	親和協力して	社会の恩恵による
技術をみがいて	よい製品をつくり	感謝の心を仕事に活かして
健全な人格をつくる	明るい職場をつくる	社会に貢献する

持続可能な社会の実現



日東精工のマテリアリティ P11

お客さまとの共有

環境共生

地方創生

人財育成

企業理念

長期ビジョン
2019-2028年

中期経営計画
Mission G-second
2023-2025年

アクションプラン

NPI*による指標管理

Growth #1

事業拡大戦略

P20

Growth #2

環境戦略

P36

Growth #3

人財戦略

P42

Growth #4

財務戦略

P48

*「NITTOSEIKO Progress Indicator」の略で、各部門のアクションプランおよびそれに基づく取り組みを体系化し、進捗率を数値化、可視化したもの。